

作成日：2016年7月29日

改訂日：2017年2月15日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名 FPクール ライトグリーン

会社名 日新工業株式会社

住所 〒120-0025 東京都足立区千住東2丁目23番4号

担当部門 技術部

電話番号 048-755-6188 FAX番号 048-755-6177

緊急連絡先 03-3882-2613 営業総務課

奨励用途及び使用上の制限 工業用 (建築用仕上げ材 等)

整理番号 AR-T058

2. 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性 経口	区分外	発がん性	区分1
急性毒性 経皮	区分外	生殖毒性	区分外
急性毒性 吸入(ガス)	区分4	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	
皮膚腐食性/刺激性	区分外	呼吸器系	区分2
眼損傷/刺激性	区分外	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	
呼吸器感作性	区分外	呼吸器系、腎臓	区分2
皮膚感作性	区分外	水生環境有害性(急性)	区分外
生殖細胞変異原性	区分外	水生環境有害性(長期間)	区分外

※ 記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

- ・ 吸入すると有害
- ・ 発がんのおそれ
- ・ 臓器(呼吸器系)の障害のおそれ
- ・ 長期または反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害のおそれ

注意書き

<安全対策>

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

<救急処置>

- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・ 暴露した時、または、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・ 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

<保管>

- ・ 施錠して保管すること

<廃棄>

- ・ 内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 製品は混合物
 化学名または一般名 アクリルエマルジョン塗料

成分	化学式	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
結晶質石英	SiO ₂	5～15	(3)-2194	14808-60-7
酸化チタン(IV)	TiO ₂	1～10	(1)-558	13463-67-7
エチレングリコール	C ₂ H ₆ O ₂	0.1～3	(1)-551	107-21-1

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・ 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：

- ・ 付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・ 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・ 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

目に入った場合：

- ・ 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・ 出来るだけ速く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・ 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護：

- ・ 適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

消火剤：	全ての消火剤
火災時の特定危険有害性：	特になし
特有の消火方法：	周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
消火を行う者の保護：	適切な保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項：	河川等へ排出され、環境へ影響を起すことがないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材：	漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。 スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。
二次災害の防止策：	特になし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：	換気のよい場所で取り扱う。 容器はその都度密栓する。
局所排気・全体排気：	特になし
注意事項：	特になし
安全取扱い注意事項：	特になし

保管

技術的対策：	日光の直射を避ける。 通風のよいところに保管する。
適切な保管条件：	特になし

安全な容器包装材料： 適切な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 特になし

管理濃度及び許容濃度：

成分	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会(2005)	ACGIH(2005)
結晶質石英	—	—	TWA0.025mg/m ³
酸化チタン(IV)	—	—	TWA 10 mg/m ³

保護具

呼吸器用の保護具	その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。
手の保護具	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
目の保護具	取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚及び身体の保護具	取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。 また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
適切な衛生対策	特になし。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状：	該当しない。
色：	ライトグリーン。
臭い：	僅かアクリル臭。
pH：	8

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲：

融点：	データなし。
凝固点：	データなし。
沸点：	製品 100℃
初留点：	データなし。
沸点範囲：	データなし。
引火点：	該当しない。
発火点：	該当しない。
爆発特性：	該当しない。
蒸気圧：	データなし。
蒸気密度：	データなし。

比重(相対密度)：1.5g/cm³

溶解性 データなし。

オクタノール／水分配係数：データなし。

分解温度： データなし。

その他のデータ：特になし。

10. 安定性及び反応性

反応性：	特になし。
安定性：	保管の項目記載の保管条件で安定。
接触により危険性のある物質：	特になし。
避けるべき条件：	特になし。
混触危険物質：	特になし。
危険有害な分解生成物：	特になし。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）：	酸化チタン(IV) LD50(ラット) > 20,000mg/kg エチレングリコール LD50(ラット) 4,000～10,200mg/kg 上記より混合物として区分外に分類される。
急性毒性（経皮）：	酸化チタン(IV) LD50(ラット) > 10,000mg/kg エチレングリコール LD50(ラット) 10,600mg/kg 上記より混合物として区分外に分類される。
急性毒性（吸入）：	酸化チタン(IV) LD50(ラット) > 6.82mg/1-4hr 上記より混合物として区分4に分類される
皮膚腐食性／刺激性：	データなし。
眼損傷／眼刺激性：	データなし。
皮膚感作性：	データなし。
呼吸器感作性：	データなし。
変異原性：	データなし。
発がん性：	データなし。
生殖毒性：	データなし。
特定標的臓器／全身毒性－単回暴露：	データなし。
特定標的臓器／全身毒性－反復暴露：	データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

エチレングリコール LC50(ヒメダカ) > 100mg/1-96 h r

上記より混合物として水性環境有害性(急性)、水性環境有害性(長期間)は区分外に分類される。

残留性・分解性 データなし。

生体蓄積性 データなし。

土壌中の移動性 データなし。

オゾン層への有害性

データなし。

その他情報

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類： 分類基準に該当しない

国連番号： 分類基準に該当しない

品名（国連輸送品名）：

容器等級： 分類基準に該当しない

海洋汚染物質：分類基準に該当しない

国内規制：

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

(陸上輸送) 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと。

(海上輸送) 船舶安全法の定めるところに従うこと。

(航空輸送) 航空法の定めるところに従うこと。

特別の安全対策：特になし

輸送の特定の安全対策及び条件：特になし。

15. 適用法令

安衛法

第57条の2第1項 通知対象物	結晶質石英 酸化チタン(IV) エチレングリコール
-----------------	---------------------------------

化学物質管理促進法	該当しない
-----------	-------

消防法	該当しない
-----	-------

毒物及び劇物取締法	該当しない
-----------	-------

大気汚染防止法	該当しない
---------	-------

16. その他の情報

主な引用文献

日本塗料工業会編集「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」

NITE 化学物質総合情報システム

原材料 MSDS

- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
- (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
- (3) このデータシートは通常想定される保管方法および取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取り扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
- (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご利用下さい。
- (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出してください。